

# 加茂岩倉遺跡銅鐸 複製

島根県古代文化センター

重要文化財

考古資料・複製



1996年10月、島根県雲南市加茂町の北西部の斜面で農道整備中に39個の銅鐸（どうたく）出土した。銅鐸は弥生時代中期（紀元前一世紀—紀元後五〇年前後）ごろに鑄造されたもので、袈裟禪文（けさだすきもん）銅鐸三十個、流水文銅鐸九個が一括埋納されていた。一つの遺跡から出土した銅鐸の数としては史上最多。

十三組二十六個が全国初確認となる中型銅鐸の内側に小型銅鐸を収めた「入れ子」状態で出土。さらに二組は両側に付いた鱗（ひれ）と呼ばれる部分を上下に立て、すそを向かい合わせた埋納当時の状態で見つかり、例のない貴重な資料となっている。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD  
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510  
fax 075-605-2519  
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>  
[rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp](mailto:rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp)



株式  
会社 京都科学